

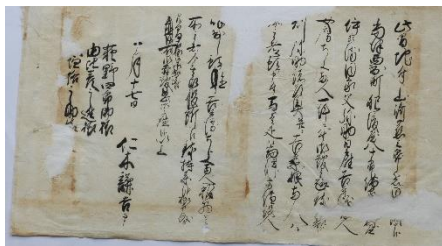
# 「江戸時代の兵庫津」

## —支配と治安維持から考える—

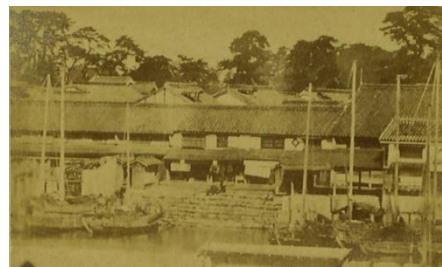
江戸時代に全国有数の港町として繁栄した兵庫津。その港町は、明和6年(1769)に突如、尼崎藩領から幕府領に支配替えとなりました。これまで、その理由は大坂を優遇する幕府の経済政策として説明されてきましたが、背後には治安悪化という大きな社会問題もあったのです。今回は、近年見出された勤番所文書なども交えながら、治安維持がどのようにおこなわれたのかを紹介しながら、18世紀後半以降の兵庫津の様相を紹介します。



西国名所之内兵庫磯乃町五雲亭貞秀画



兵庫勤番文書のうち「無宿与助行倒一件」



撰津阪西名所写真帳のうち「兵庫港口」

(神戸市立博物館所蔵)

日時 11月20日(金)

午後1時30分~3時

(受付:午後1時より)

場所 長田区文化センター  
3階 講習室1

講師 高久 智弘

(神戸市立博物館学芸員)

※10月12日(月)午前9時より、来館または電話にて先着順にて受付いたします。

受講料 無料(先着20名)

主催:(公財)神戸市民文化振興財団 長田区文化センター

共催:神戸市立博物館

お申込、お問い合わせは・・・

(公財)神戸市民文化振興財団

神戸市立 長田区文化センター 3階

〒653-0038 神戸市長田区若松町5丁目5-1

☎078-643-2431

【受付時間】午前9時~午後8時(日・祝は午後4時まで)

第3木曜日 休館 (JR・地下鉄新長田駅すぐ)

